

課 題 と 取 組					
がんセンター	<p>患者さん中心のがん診療</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>最先端治療の展開</li> <li>新患は当日検査、当日治療方針提示</li> <li>セカンドオピニオンの実施</li> <li>かかりつけ医や地域の病院との連携を重視</li> <li>都道府県がん診療連携拠点病院の指定対応</li> <li>病院機能評価の更新対応</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>樹状細胞移植、骨髄移植を中心とした細胞療法の展開(肺がん、白血病、胆道がん、難治性消化器がん)</li> <li>新しい分子標的治療の提供 (ハーセプチン、イレッサ、サリドマイド、等) ・肝内胆管癌に対するEGFR発現の検討と治療への応用</li> <li>イメージナビゲーションサージェリーの導入 ・MRIファイバートラッキングを重視した脳外科手術 ・肝癌手術への応用</li> <li>低侵襲治療の推進 ・IMRTの更なる拡充と治療適応の拡大 ・鏡視下治療の開発と推進(胃がん、大腸がん、肝臓がん、乳がん、など) ・超音波収束治療装置の導入(乳がん、子宮筋腫、肝腫瘍、前立腺がん)</li> </ol> </div>				
救急医療センター	<p>県立高度救命センターとしての機能の強化等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>先進的医療の救急医療における応用(カテテルアブレーション、脳神経血管内治療、高度熱傷、切断指再接着等々)</li> <li>三次医療センターのネットワーク作り</li> <li>地域医療連携の強化 -新規患者の増加と在院日数の減少- (1) 院内各セクション間の病床情報の共有化による効率的なベッドコントロール (2) 他医療施設とのコミュニケーションの向上</li> <li>ヘリポートの夜間使用 夜間照明設置に関する法規制等調査ワーキング設置(5月)</li> <li>17年度分未収金を18年度末で25百万円以下に ~ 臨戸、内容証明での催告、資産調査、保証人への請求等</li> <li>施設の老朽化への対応</li> </ol>				
精神科医療センター	<ol style="list-style-type: none"> <li>精神科救急入院料算定患者の比率をできるだけ引き上げる (85%以上)。複雑困難なケースが増加していることから、状況は 厳しいが、集中治療と退院後のアフターケアを強化する。</li> <li>増加の一途にある患者と、精神医療に対するイメージ の変化に対応した施設改修を行う</li> <li>心身喪失者等医療観察法への対応</li> </ol>				
こども病院	<ol style="list-style-type: none"> <li>病院機能評価の更新</li> <li>IT導入に向けたシステムの選定</li> <li>老朽化した施設整備・医療機器等の状況把握と今後の整備計画</li> <li>地域医療連携支援の強化とセカンド・オピニオンの実施</li> </ol>				
循環器病センター	<ol style="list-style-type: none"> <li>電子カルテの運用と病院機能評価受診に向けての取り組み</li> <li>ガンマナイフの線源交換とバージョンアップに向けての検討</li> <li>基幹災害医療センター機能の充実(備蓄資器材の確保・救急車の配置など)</li> </ol>				
東金病院	<ol style="list-style-type: none"> <li>医師確保対策 <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">17.4現在</td> <td style="text-align: center;">18.4現在</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">医師数 17名 (うち内科7名)</td> <td style="text-align: center;">医師数 11名 (うち内科3名)</td> </tr> </table>                     18.7整形外科医師1名増員予定                      1. 今後とも大学病院の他に人材紹介業及び ホームページ等による必要な医師の確保                      2. 住民への啓発活動、院内においては、診察ボードによる 診療状況の告知に加え、掲示等による周知                 </li> <li>救急搬送患者の受入れ 山武地域の内科系救急体制について、月の半数以上が内科医不在につき、内科系の 救急車を受け入れできない状況にある。 (1) 内科系二次救急病院との連携強化による医師の確保 (2) 住民への啓発活動 (3) 圏外に対して無条件で受け入れる後方支援病院の確保</li> <li>地域医療支援・地域医療連携の一層の強化 これまでの医療過疎に加えて、今後とも医師不足が進む当地域では、病院と診療所が役割分担を明確にし、地域連携バスを活用して循環型地域医療を確立をする。                      1. 地域ぐるみの人づくりの観点から (1) かかりつけ診療所の研修支援と医療連携の強化 (2) 地域医療をになう新人医師の育成 (3) 地域住民の啓発活動                      2. 病院と診療所の役割分担の新たな取組として、糖尿病についての循環型地域医療連携としての「地域連携バス」の推進                      3. 専任スタッフ及び独立した地域医療連携室の設置等による 地域医療連携の強化</li> </ol>	17.4現在	18.4現在	医師数 17名 (うち内科7名)	医師数 11名 (うち内科3名)
17.4現在	18.4現在				
医師数 17名 (うち内科7名)	医師数 11名 (うち内科3名)				
佐原病院	<ol style="list-style-type: none"> <li>香取地域医療提供体制の強化・充実 課題 佐原病院も含め地域医療を担う医師の偏在・縮小・高齢化 開業医等診療所との病診連携や病院相互の病院連携の更なる強化 救急患者受入れ態勢の整備・充実 対応 1. 県内外大学医局への働きかけや民間紹介会社の活用・ホームページ等への募集案内等を通じた常勤医確保対策 2. 地域医師会との情報交換会 3. 国保小見川総合病院との機能分担・医療連携等地域医療 を考える地元関係者との検討会議 4. CT-MRIなどの高度医療機器の活用促進</li> <li>在宅医療促進に向けた訪問看護体制の強化 課題 専任の訪問看護師2名による患者対応が限界 在宅を希望する患者・家族の増大と支援体制の強化 診療報酬決定で強化された在宅療養患者への効果的・効率的な対応 訪問看護患者へのサービス内容に関する地域ケアマネジャーとの調整 医療処置の必要な患者の訪問診療に携わる医師の確保 対応 1. 24時間対応の訪問看護ステーションへの移行 2. 訪問看護と連携のとれた居宅介護支援事業所の ステーションへの併設 3. 在宅への退院を目指す亜急性期病床の利用促進 4. 地域の訪問看護ステーションや開業医の医師等との情報交換会</li> <li>佐原病院本館耐震対策 1. 耐震化に向けた方針や安全対策について検討</li> </ol>				
千葉リハビリテーションセンター	<ol style="list-style-type: none"> <li>医師、看護師の欠員の確保 医師の欠員4名(総合内科、リハビリ科、整形外科、眼科)、看護師の欠員2名(7月28日現在)</li> <li>経営改善5か年計画 センターでは、平成18年4月からの指定管理者制度に対応し、経営改善計画を作成・実行 現在、利用者サービス・経営基盤の確立の2区分に係る経営改善項目36項目に取り組んでいる</li> <li>老朽化した設備・備品の改修・更新 診療業務に支障をきたしている老朽化した設備・備品の早急な改修と更新</li> <li>給与改定 医業収益に大きな比重を占める給与制度を改定し、経営改善 を図る 平成18年7月1日改定</li> <li>職員派遣のルール化 地域の療育機関や専門職の養育校などへ講師等として職員 を派遣し、技術的援助や人材育成等を組織的・効率的に行うため、受付窓口を明確化するとともに事務手続きや金銭の流れを 整理・統一するため、派遣要綱を制定するなどのルール化を図った。 平成18年4月1日施行</li> </ol>				